

ごみのリサイクル率 24.5%



神奈川県
統計センター



統計の日とは（昭和48年7月3日閣議了解）【抜粋】
統計の日の重要性に対する国民一般の関心と理解を深め、統計調査に対する国民のより一層の協力を推進するため、「統計の日」を設ける。「統計の日」は、毎年10月18日とし、この日を中心として、統計功労者の表彰、講演会、展示会の開催等統計知識の普及のための行事を全国的に実施するものとする。

2年連続全国1位！ 令和3年度一般廃棄物処理実態調査より



同調査で神奈川県はごみのリサイクル率が24.5%と、全国1位であることが分かった。全国平均は18.0%、2位は鳥取県24.2%、3位は山口県の24.0%だった。

平成24年度から30年度までの7年間で、ベスト3にランキングしていた。令和元年度に4位に下がったが、翌2年度に24.7%となり全国1位を達成した。3年度のリサイクル率は前年度より下降したものの、2年連続で1位を達成した。神奈川県は、ごみのリサイクルが盛んな県であることが分かった。

神奈川県内ランキング 横須賀三浦地域がベスト3を独占

令和3年度の神奈川県内のごみのリサイクル率ランキングは、1位鎌倉市52.6%、2位葉山町50.4%、3位逗子市46.6%と、横須賀三浦地域がベスト3を独占した。

また、鎌倉市は、人口10万人以上50万人未満の市において、全国1位だった。



一般廃棄物処理実態調査

一般廃棄物行政の推進に関する基礎資料を得ることを目的として、全国の市町村等に対して行うもの。本調査結果は、ごみ、し尿の排出処理状況、事務経費・人員、処理施設の整備状況等について取りまとめている。

神奈川県のごみ総排出量

令和3年度における神奈川県内のごみ総排出量は275万トン、県民1人あたりの1日のごみ排出量は、2年度との837グラムよりも18グラム減少し、819グラムであった。

全国の最終処分場残余年数平均23.5年

令和3年度末現在、全国の一般廃棄物最終処分場は1572施設（山間1129、海面23、水面9、平地411）、残容量は9844万8千m³だった。残余年数は全国平均で23.5年だった。残余年数とは、新規の最終処分場が整備されず、当該年度の最終処分量により埋立が行われた場合に、埋立処分が可能な期間（年）をいう。

しゅうまい支出金額全国1位 横浜市家計調査より

家計調査によると、年間、世帯がしゅうまいを購入する金額は、横浜市が県庁所在地と政令指定都市の中で全国1位。令和3年から5年における横浜市の年間の平均支出額は、2428円と、全国平均1093円の倍以上の金額だった。



さらに、2位が川崎市の1813円、3位が相模原市の1589円と続き、神奈川県はしゅうまいへの支出が盛んな県であることが分かった。

統計調査員がお伺いしましたら、ご回答をお願いします。

統計調査

神奈川県 統計センター

検索

神奈川県統計センターでは、家計調査のほか、各種統計調査を実施しています。詳しくは「神奈川県 統計センター」を検索してください。